

## 事例を確認しましょう (※これは他県を含めた実例を元に作成しています。)

### きっかけはSNSで個人的なつながりを持ったことでした

登場人物：高校男性教諭A（37歳） 女子高校生B（16歳）

SNSでも悩み  
が言えるなら、  
やり取りして  
みようか。

(10月) 教諭AはSNSで女子高校生Bからの友達申請を許可し、SNSを通じてメッセージのやり取りを始める。やり取りは、主にBから送られてきて、友人関係についての悩みに対して応答していた。一ヶ月に数回やり取りを行っていた。

### 引き止まるきっかけはあったのに・・・

(1月) ある日、学校の自分の机に手帳がおいてあった。それはBからの誕生日プレゼントだとわかり、教諭AはBが自分に好意を持っていると感じ始める。

その後Bから「先生のことが好きです。」とメッセージが届く。教諭Aは「ありがとう、気持ちはわかった」と返信する。再び、Bから「やっぱり無理かな～」と返信があり、教諭Aはそれにどう返信すれば分からず一旦メッセージのやり取りは終了。

### 最悪の事態へ・・・

(3月) その後、教諭Aは転勤することになり、Bが不安な気持ちになっているようなので、「SNSのメッセージがあるからいつでも話はできるよ」や「転勤しても気晴らしや愚痴につきあってくれよ」とメッセージを送る。

Bからは「めっちゃ嬉しい、先生と付き合えることってないかな」と返信がくると「そういう例も無いわけではないと思うけど、滅多にないんじゃないかな」と返信、さらに、思わせぶりの内容ではいけないと思い「はっきり言うておくけど付き合うことはまずありえないよ」と送信した。その後Bから「ごめんなさい、わかった」と返信があり、Bはそれ以降学校に登校できなくなりました。

### あなたはどのように考えますか？

#### ●グループワークの進め方

- ①事例を確認する
- ②どこに問題があったのか、どうしてこのようなことがおこったのか考えてみましょう。
- ③②で考えたことを小グループで話し合う  
(経験談を共有しましょう)
- ④全体で共有する

#### MEMO


# 不祥事を起こした当事者の声

## (10月)の時点

「その時は特に友達申請を許可することに抵抗がなかった、それが大きな誤りでした。」  
「直接助言をしたり、相談を受ければ良かったと思いますが、直接では言いにくいことを相談してくれたきっかけはSNSのメッセージだったため、SNSでのやり取りについては全否定できない部分もあり、やり取りを続けました。」

## (1月)の時点

「SNSのメッセージ機能でやり取りを続けていたので、このようなやり取りになった。SNSを通じたやり取りを続けることがいけないことだと実感した。この時しっかりとした対応をしていれば・・・今となっては後悔しています。」

## (3月)の時点

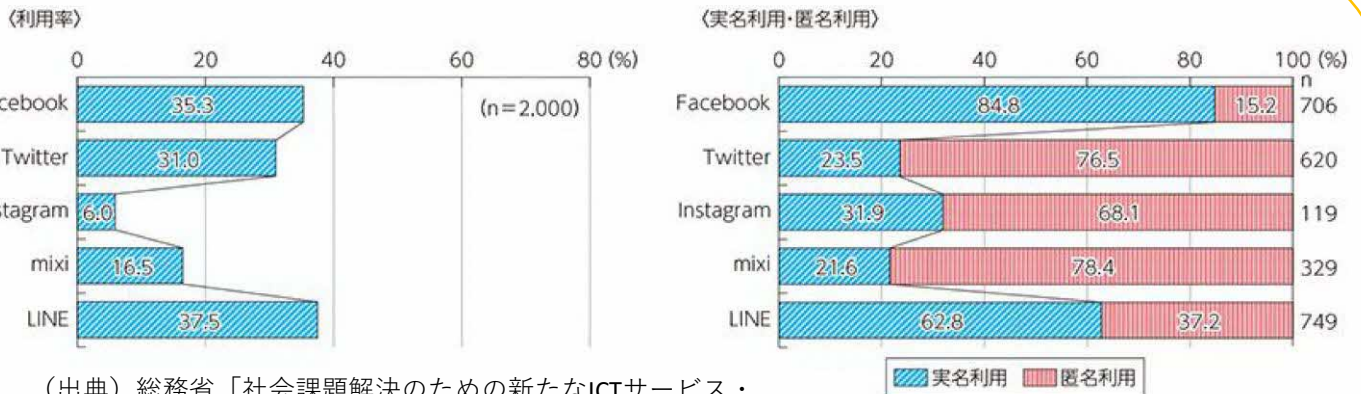
「振り返るとSNSの危険性を感じていましたが、SNSでしか出来ないこと、SNSならではの利点もあり、SNSも必要なのではないかと思うことがありました。」  
「経緯からみても友達のようなやり取りとなって、本質から大きく離れていってしまいました。SNSによりお互いの気持ちにズレが生じて、思わぬ一言が大きな影響を及ぼすことを痛感しました。」  
「やり取りを途中で止める機会は何回かあったにも関わらず止められなかった自分の甘さを深く反省しています。本人のことを思うならば別の方法を冷静に考えて導く必要があったのではないかと後悔しています。」  
「生徒への対応は他の教員と相談する必要があったと思います。今後、生徒から相談があれば、教員としての自覚を持ち、対応をしていきたいと強く思っています。」

## どんな学びがありましたか？（研修の振り返り）

●上記の手記や女子高校生Bの気持ちを含めて、どのようなことを感じましたか。書いてみましょう。

### MEMO

## i SNSの利用率及び実名利用率



(出典) 総務省「社会課題解決のための新たなICTサービス・技術への人々の意識に関する調査研究」(平成27年)

**実名を登録**して利用したり、**プロフィールから本人の特定**が可能な場合は、**誰にどのように見られているかわかりません。**

SNS上でも、公務員として守るべき「**身分上の義務**」(信用失墜行為の禁止、秘密を守る義務など)に違反してはいけません。